

(対象期間：2022/5/9～2022/5/13)

## 【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年5月13日)



## 【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年5月13日)



## 【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年5月13日)



100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

## 【株式市場】

週初、インドネシア株式市場は連休前に好決算を好感して上昇した銀行株を中心に大幅下落となりました。また、米国株の低迷やインフレ懸念を背景としたセンチメントの悪化からハイテク株なども大きく下落しました。9日発表の1-3月期の国内総生産（GDP）は前年同期比5.01%増と4期連続のプラス成長となりました。10日も銀行株やハイテク株を中心に続落しましたが、好決算を好感した大手消費財メーカー株は上昇しました。12日は商品株も利益確定売りを背景に弱含みとなるなど続落しました。インドネシア株式市場は4月28日比下落しました。

2022/4/28	2022/5/13	変化率
7,228.91	6,597.99	-8.73%

※4月29日から5月6日まで祝日のため休場

## 【債券市場】

週初、インドネシアの債券利回りは大幅上昇（価格は下落）となりました。9日に発表された4月の消費者物価指数（CPI）は資源価格の高騰などを背景に前年同月比3.5%の上昇となり、前月の同2.6%から加速しました。債券利回りは連休中の米国債利回りの上昇やインドネシアのCPIの発表を受けて大幅上昇となりました。10日に行われた国債入札の応募額は前回の40兆ルピアから大幅に減少し、利回りは更に上昇しました。その後は週末にかけて狭い値幅での推移となりました。10年国債利回りは4月28日比上昇しました。

2022/4/28	2022/5/13	変化幅
6.986	7.383	+0.397

※4月29日から5月6日まで祝日のため休場

## 【為替市場】

週初のルピアは株式、債券市場からの外国人投資家の資金流出を受けて対米ドルで下落しました。その後、11日にかけて米国債利回りの低下などを背景に買い戻し傾向となりました。しかし、株式市場から外国人投資家の資金流出が続いたことや米国のCPIが市場予想を上回る伸びとなり、米国による積極的な金融引き締め懸念が広がり再びルピアは下落しました。13日発表の4月の外貨準備高は政府の対外債務の支払いなどを背景に3月の1391.3億米ドルから1356.6億米ドルに減少しました。ルピアは前週末比で対米ドル、対円ともに下落しました。

2022/5/6	2022/5/13	変化率
0.8996	0.8825	-1.90%